



はくい (HAKUI)

羽咋市議会では、市民の皆さんへ議会の結果や市議会議員の活動を伝えることを目的として「市議会だより」を発行しています。市議会議員は市民の皆さんの代表であり、市民の声を市政に反映させることが仕事です。何でもご相談ください。

平成28年4月号(2016)

市議会だより

No.69

発行者／石川県羽咋市議会
編集者／市議会だより編集委員会
住 所／〒925-8501 石川県羽咋市旭町ア200番地
TEL 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210
<http://www.city.hakui.ishikawa.jp>

主な内容

一般質問……………	2
各委員会報告……………	8
市民の声……………	10



「二級河川羽咋川」に春の訪れ

平成28年第1回定例会の概要

平成28年第1回羽咋市議会定例会が2月29日から3月18日までの19日間開催された。提出された議案は、平成28年度羽咋市一般会計予算案など議案29件、報告2件。

初日の提案理由説明で山辺市長は、平成28年度を「がんばる羽咋創生元年」と位置付け、総合戦略をいよいよ本格的に実行し、スピード感をもって着実に推進していくには、官民連携、地域間連携が極めて大切であるとして、4つの基本目標について説明した。

3月8日、9日の質問日では10人の議員が質問に立ち、平成28年度予算案、自然栽培アンテナショップ、国民健康保険税、除雪対応、土地開

発公社および土地開発基金などについて質問した。

最終日の採決では、平成28年度羽咋市一般会計予算案、平成27年度羽咋市一般会計補正予算案など市長提出議案29件、報告2件を全会一致または賛成多数で原案のとおり可決、承認。継続審査を含めた請願5件のうち2件を採択、2件を不採択とし、継続審査中の請願1件も不採択とした。

また、追加された議員提出議案の「奨学金制度の充実等を求める意見書」、「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書」の2件は可決した。



浜名 等 議員

町会管理の防犯灯、LED化に向け前進！



内灘町霊園の合葬墓

LED防犯灯、町会に対し現物支給

【質問】 市内66町会には3,000個を超える防犯灯があり、平成28年度の予算規模である年間300個の町会支給で推移していくと、約10年の年月を要することになる。国が進める蛍光灯の廃止時期を考えると、あと5年が目安となるが今後の年次計画について市長の考えを聞く。

【答弁】 防犯灯のLED化の年次計画については、蛍光灯が市場から無くなると言われる平成32年度までに、LED化が完了するよう進めていく。配布予定数を超えた場合の配布基準については、町会からの要望数を案分し、配布を行っていく。また要望数が予想を大幅に超えた場合には予算の補正も検討していく。

低価格で購入できる合葬墓の建設を

【質問】 お墓を持たない高齢者の市民にとって、自分や家族の方が亡くなった時に収まる墓が無いことは大きな悩みの一つだと考える。現在、空き区画の無い墓地公苑の新たな造成に当たっては、低価格での購入が可能となる合葬墓の建設も視野に入れる必要があると考えるが、市長の考えを聞く。

【答弁】 年に数件、空き区画の問い合わせがあり、平成28年度は墓地公苑内に6区画を増設する予定である。合葬墓の建設については、社会情勢の変化などにより合葬墓への関心が高まっており、今後は移住・定住を促進するためにも先進自治体の状況を見ながら検討する。



高田 甚哉 議員

羽咋市に活力を活かせ



公民館は投票所になる

羽咋市の投票率UPを

【質問】 投票率の低下の要因として若年層の政治や選挙に対する関心の低さがあるが、投票の資格は投票日満18歳以上で、羽咋市に住民票が3ヶ月以上ある方が対象である。羽咋市市制施行時には3万人の人口であったが、投票所は当時のままの15カ所である。今は人口2万2,000人を切ったが、市の広範囲に人が住んでいる。新しく投票所を開設する考えはないか。投票率UPに向けていろいろな施策が審議されているが、人が集まるところ即ち買い物する大手スーパー等に投票所を開設すれば良いと言われている。白山市では大手スーパーに期日前投票所があり、利用者が大変多いと聞いている。期日前投票所を開設する考えは

ないか。

【答弁】 県内各市町の投票所設置状況と比較して、本市における投票所数は少ないという状況ではなく、本市の人口や面積規模を勘案すると増設の必要はないと考えている。商業施設等に新たに期日前投票所を設けることは、場所の提供をいただく事業者の協力が不可欠であることや、二重投票防止の観点から選挙人名簿照合のためのネットワークの構築と、事務従事者の一定期間の配置が必要であり、今後の県内自治体の動向等を参考にしたい。



松永 幸則 議員

世界中、日本中から 人が集まる羽咋市に

日本一になった千里浜なぎさ
ドライブウェイ

千里浜なぎさドライブウェイ日本一のPRを

【質問】 世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」で、千里浜なぎさドライブウェイが日本のベストビーチ1位、つまり日本一に選ばれた。しかし、観光スポットや建物の表記がバラバラで全く統一されていない。例えば「千里浜なぎさドライブウェイ」であるべきところが、単に「なぎさドライブウェイ」になっている。せっかく「千里浜」がさらに有名になったのだから、今後は絶対に外すことなく使っていただきたい。名称をきちんと統一し、それをしっかり使用するように周知していただきたい。

【答弁】 これまで千里浜なぎさドライブウェイを表記する際には特段の取り決めがなかった。今後は「千里浜」の文字を入れた表記に統一し、使用するよう取り組んでいく。

学校給食における自然栽培のさらなる活用を

【質問】 市内全小中学校における自然栽培の米・野菜の学校給食の活用は日本中から大きな反響があった。市内の認定こども園等の給食に関しても、できるだけ自然栽培の農産物を使用してもらうように働きかけていただきたい。

【答弁】 給食は乳幼児の心身の成長や健康の保持増進をはじめ、家庭や地域社会の食生活改善の役割など重要な意義を持つものと考えている。今後は、公立保育所をはじめ民間保育所や認定こども園においても、給食に自然栽培の農産物を取り入れるよう働きかけていく。

その他の質問

羽咋市まち・ひと・しごと創生本部をはじめとする組織機構について



櫻井 英一 議員

がんばる羽咋創生総合戦略の 着実な実行を

羽咋市ホームページにおける移住・
定住情報

移住・定住の促進

【質問】 移住・定住促進対策として、より内容を充実させた分かりやすいホームページをつくるのが不可欠である。市ホームページのトップページに移住・定住に関する専用ページを開設し、本市の移住・定住情報が全て分かるように情報の一元化を図るべきである。

【答弁】 平成27年度中に開設する。専用ホームページには本市の概要や歴史、ふるさと応援団情報、移住者の体験記、空き家情報、求人情報、就農、起業の支援制度に関する情報のほか、子育て情報、観光、宿泊情報にも簡単にアクセスできるようにする。また、開設後もより快適なアクセシビリティ向上のため、随時ホームページの枠組みや内容の充実を努める。

起業家支援制度

【質問】 起業家支援制度の取り組みが功を奏し、近年は市内における創業数が伸びている。しかしながら、創業後に課題や悩みを持つ事業者も多い。そこで、今後もさらなるサポートが必要である。

【答弁】 2月29日に開催した創業交流会は、近年創業した方や創業を検討している方を対象に、創業後の悩みや課題などを共有し解決のきっかけにしてもらう場として実施した。空き店舗の情報やPR方法、資金面などさまざまな悩みがあることが把握できた。今後も関係機関と連携しながら切れ目のない支援体制を構築する。

その他の質問

- ①自然栽培アンテナショップについて
- ②除雪対策について



北川 真知子 議員

「新入学児童生徒学用品費」 は3月に支給を



就学援助の署名を手渡す

就学援助の改善を

【質問】 就学援助では、新入学の児童生徒に対して「新入学児童生徒学用品費」を7月に支給しているが、新入学時は制服やカバン代など準備費用が大変である。3月支給になれば助かる家庭も多い。予算を増やさなくてもできることなので、「新入学児童生徒学用品費」は3月支給を求める。

【答弁】 平成29年度の入学者を対象に、入学前の3月支給を検討している。今後は要綱を整えていきたい。

子ども医療費窓口無料化は、4月1日から実施を

【質問】 子ども医療費窓口無料化は平成28年度実施すること。4月1日からの実施を求める。

また、どの医療機関を受診しても窓口無料にしてほしい。

【答弁】 給付システムの改修や関係機関との調整、住民への周知徹底も必要なことから、12月を目途に事務を進めていきたい。窓口無料化となる医療機関については、県内全ての医療機関を対象とする。

その他の質問

- ①国民健康保険税について
- ②介護保険制度について
- ③地域振興について
- ④地域循環バス運行事業について



塩谷 久司 議員

市民に愛される 「(仮称)道の駅はくい」を



自転車道路より長手島を望む

観光交流拠点事業の成功は地元住民に愛される道の駅だ

【質問】 地元住民に愛され、市内の台所とする具体策は。また、市民参加型の個人出資や農水産物の安定供給についての具体策は。

【答弁】 自然栽培をはじめ新鮮な農水産物やイノシシの肉や加工品等の販売で、市内のスーパーとすみ分ける。地元食材のレストランや加工場等の配置でイベント開催、魅力的な場として整備運営する。また個人出資は市、商工会、JAはくい、漁協や金融機関の出資で法人設立の準備中。開業後の状況をみて検討する。

全国的な自転車ブームで海岸ロマン道の活用を

【質問】 観光交流人口増に対する市の本気度や自転車道路の安全対策、車止めの撤去は。また本市の文化財と自転車道路のルート整備の考え、滝石海岸、長手島、妙成寺等の周辺歴史的環境の物語性を持った一体的な活用で本物志向の観光創出を図っては。

【答弁】 ルートの策定やマップの製作、PR活動で自転車道路の活用を周辺自治体と連携し、取り組みを検討。滝、柴垣間の車止めは安全確保上、県に対し緊急時の対策を協議、要望する。西北台地区には多くの観光資源があり、魅力を全国に発信し観光誘致、地域の活性化を図る。



寺井 哲也 議員

羽咋の未来を担う取り組みを



羽咋の未来を担う子どもと学び舎

災害に強いまちへ

【質問】 市の除雪計画、対応は十分であったのか、市長の見解を聞く。

【答弁】 今回の大雪には初動対応を早めるとともに、本市の除雪能力が最大に発揮されるよう対応をした。しかし、吹雪による視界不良や除雪車の脱輪や故障により作業に時間がかかり、市民生活等にご迷惑をかけた。今回寄せられた苦情や要望等を今後の除雪対応に生かしていきたい。

教育予算の拡充は

【質問】 2年後には小学校の英語活動が教科となる。①ICT関連の予算が計上されているが、タブレットが校内のLANにもつながらないし、機器は各学校に配置するのではなく貸し出しをする

というふうに聞く。各学校に配置する考えはないのか。②現在1人である、ALT 外国語指導助手の拡充について。

【答弁】 ①今年度、10台の購入を予定している。校内LANについては、未整備の2校については財政状況を見ながら整備を行う予定である。ICT機器のさらなる拡充については、推進事業の成果を踏まえ検討していきたい。②文科省のグローバル化に対応した英語教育改革実施計画では、中学年で活動型、高学年で教科型といった方針を掲げており、高学年に関しては専科教員の積極的活用等のが求められており、対応できるようALTの配置について検討したいと考えている。

その他の質問

アンテナショップについて



新田 義昭 議員

平成28年度の予算と事業計画



がんばる羽咋創生総合戦略

財政の健全化と防犯灯のLED化は

【質問】 一般会計の当初予算規模は、115億6,000万円である。前年度と比較し14.8%増の14億9,000万円の増額である。人口減により、市民税・法人市民税・固定資産税が減少している中、多くの事業計画が発表された。公約の実質単年度収支の黒字化および財政の健全化ならびに町会長連合会の要望である防犯灯のLED化および公共施設のLEDの事業計画について聞く。

【答弁】 平成16年度から6年間、赤字が継続。財政再建のため市民サービスの一部縮減と職員の減員、指定管理者の導入、民間委託の推進により平成22年度から27年度は黒字である。今後も、財政の健全化に努めていく。町会の防犯灯のLED

化は平成32年度までに完了。公共施設のLED化も順次更新していく。

羽咋創生の構成メンバーと進め方について

【質問】 将来の人口目標・事業計画（がんばる羽咋創生総合戦略）のプログラム作成メンバーには、若者は何人いたのか。実現していくためには、若い人の力が不可欠。若い世代の職員との対話と指導方針を辻角副市長に聞く。

【答弁】 構成メンバー21人の内、若い人は10人含まれており、それなりに若い人たちの意見も反映されている。プログラムを実行していくには、広域連携・民間連携・政策連携を生かし、若い人の力を中心に職員の知識の共有化を図り、組織の総力を結集して実行していく。



浅野 俊二 議員

柴垣、滝海岸にサーフィンの世界大会を!!



サーフィン世界大会を

グラウンドゴルフ関連施設の整備を急げ

【質問】グラウンドゴルフ愛好者は300人以上で日常的な練習や数多くの大会がある。当市は県体の優勝や国体での上位選手もいる。①眉丈台地の女子トイレ不足で他市町の評判が悪いので、トイレ3個以上の増設を求める。②邑知の郷公園のグラウンドゴルフ広場の増設の時期は。③滝港緑地広場の活用を考えているのか。

【答弁】①眉丈台地スポーツ広場のトイレ増設は高額になり、簡易式トイレでご理解を(再々質問でトイレ増設の検討を約束)。②邑知の郷公園の24ホールへの増設工事は今年6月に完成させる。③パークゴルフ、グラウンドゴルフ、イベント会場として利用を進める。

サーフィンのまちづくりを

【質問】柴垣、滝海岸は湘南海岸に匹敵する日本海側一の海岸であり、冬場でも多くの若者が利用している。サーファーの要望は、①3年以内にサーフィン世界大会を。②ビーチのシャワー、トイレの充実を。③柴垣で宿泊施設、温泉、飲食店の充実を。④冬でも可能なトレーニング施設の建設を。⑤国際大会に出場可能な選手の育成である。今後移住定住人口の増加にもなり、市としても積極的な対応を求める。

【答弁】世界大会の要望の件については、観光振興や地域振興にも寄与するもので、まずは関係者との話し合いを進めたい。

その他の質問

サイクリングルート整備について



稲村 信成 議員

羽咋創生には、モット市民への活動支援を!



防災組織の活性化

自主防災組織活動の支援UPを

【質問】各町会の自主防災組織への補助金制度は、防災会に4年目まで5万円+世帯100円/年を支給。千里浜町金比羅町会では、各世帯の把握・防災訓練・火災報知機の確認・夏期老人宅への水配給訪問・除雪支援等々の活動をしている。単なる防災・訓練会では無く、『防災・生活支援見守り隊』機能を持った活動こそが市民の安全安心を守る組織ではないか。行政の大幅な経費削減効果もあり、是非とも補助金の充実を求める。

【答弁】今期は22団体に補助を交付、結成4年目の7団体は交付終了。防災設備の整備には補助金を交付する。補助金延長は検討課題とする。

土地開発公社に資金投資は時代遅れ

【質問】土地開発公社は、平成25年総務省で解散

の方向を指導され、県は平成26年3月に解散(地価下落、大型公共事業の終了により意義薄れる存在等)。市土地開発公社の①債務解消の補填額は。②土地開発基金の運用実績は。③平成27年3月末土地簿価総額は。④土地開発公社の解散等の方針は。

【答弁】①債務補填額平成元年～今年度末合計約16億5,600万円 ②平成22～26年度運用実績合計88万9千円(利子・貸付料)③平成27年3月土地簿価2億740万円 ④廃止は今後財政状況・事業を考慮し検討。

その他の質問

- ①保育所運営について
- ②国民健康保険特別会計の基金について
- ③減債基金の積立について

文化財保存活用促進特別委員会、妙成寺での報告会に参加

3月13日(日)、文化財保存活用促進特別委員会が、妙成寺で行われた「多面的価値調査事業」の報告会に参加しました。本市には国指定重要文化財の建造物が15棟あり、このうち10棟が存在する妙成寺は、能登随一の七堂伽藍を有する安土・桃山時代の勇壮で華麗な建築物であり、本堂を中心に祖師堂、三光堂という3つの御堂横並びの配置は、現存する日蓮宗寺院では全国で妙成寺だけとなっています。この妙成寺の文化的価値を後世に伝えていくことは、本市の魅力増進及び本市来訪者の増加による交流人口の拡大が期待されることから、建造物では県内初となる「国宝」指定も視野に入れ、保存活用と市民活動を実践していく必要があります。



羽咋市南部配水場竣工式に参加

3月28日(日)、粟生町にて羽咋市南部配水場竣工式が行われました。この配水場は、市内の水道の約70%を配水する大変重要な施設ですが、昭和40年代に建設された各施設の老朽化が著しく、また耐震性も低かったため、早急な対応が求められておりました。

このため、約9億7千万円の事業費を投じて平成23年度から羽咋市南部配水場更新事業が開始され、平成28年3月に完成いたしました。

基本理念である「いつでもどこでも安心して飲める水」が、これからも将来にわたり常に安定して供給されるように、市議会一同で祈念いたしました。



総務民生常任委員会報告

◎櫻井 英一 ○浜名 等 松永 幸則 大塚 幸男
新田 義昭 中村 孝清 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第1号「平成28年度羽咋市一般会計予算」中、当委員会所管分など議案18件、報告2件及び請願4件。なお、平成28年度の各会計の新年度予算については、産業文教常任委員会と合同で連合審査会を開催し、3月9日から11日にかけて審査した。平成28年度の新年度予算を除く、残りの付託案件については、3月14日に委員会を開催し、審査した。

その結果、議案18件および報告2件については、いずれも全会一致で原案のとおり可決・承認した。請願第1号「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書の提出を求める請願は賛成少数で不採択とした。請願第2号「消費税10%増税中止の意見書」採択を求める請願は賛成少数で不採択とした。請願第3号「奨学金制度の充実等を求める意見書の提出を求める請願」は賛成多数により、採択とした。請願第4号「安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願」は可否同数となったことから、委員長裁決により採択した。また、陳情3件については聞き置いた。連合審査会での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 地域商品券発行支援事業について、商品券の発行効果はどうだったのか。

【答弁】 アンケート調査等から、買われた店はスーパーや大型電気店が多かったが、このプレミアム付商品券の発行に合わせて、地元商店街や羽咋スタンプ会が独自に特典を付けPRしたことで、地元の店に半分が使用されており、消費喚起効果に繋がった。

【質問】 中学校施設整備事業について、工事の内容の説明を。

【答弁】 羽咋中学校グラウンドの陸上トラックの移設、水はけが悪いことから表土の改良及び幅跳びの砂場などの整備を行なう。

【質問】 認知症施策推進事業について、認知症の方が増えている。認知症初期集中支援チームは立ち上げたのか。また、認知症の認定専門ドクターはいるのか。

【答弁】 まだ立ち上げていないが、先般1名のドクターが認知症サポート医になっていただけた。平成28年度中旬には認知症初期集中支援チームを立ち上げ、活動したい。

その他、都市再生整備計画事業の委託費の内容について、介護サービス給付事業の内容について、下水道事業会計の今後の状況について、墓地公苑事業の管理基金の状況などについての質疑、答弁がされた。

次に当委員会における審査過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 情報化推進事業の情報セキュリティ強化対策について、昨今、自治体のサーバーに対してサイバー攻撃が増えている。どういう対策を考えているのか。

【答弁】 現在、専門の担当職員が1名であることから、今後、職員のスキルアップや万一の場合の危機対応を考え、複数体制でしっかりと対応していきたい。

【質問】 保育所費について、今年度、預かる子どもの数が見込みより30人ほど下回った理由は何か。

【答弁】 主に出生数が伸びなかったことなどから、ゼロ歳児の預かる子どもの数が増えなかったことで、見込みより下回った。

その他、道路橋梁費補助金の減額内容について、家族介護支援事業および地域生活支援事業の減額内容など、付託案件以外では、里帰り出産時の一時保育の期間延長等についての答弁がされた。

産業文教常任委員会報告

◎寺井 哲也 ○高田 甚哉 北川 真知子
稲村 信成 塩谷 久司 中村 重幸 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第1号「平成28年度羽咋市一般会計予算」中、当委員会所管分など議案13件および継続審査中の請願1件。なお、平成28年度の各会計予算については、総務民生常任委員会と合同で連合審査会を開催し、3月9日から11日にかけて審査した。平成28年度の新年度予算を除く、残りの付託案件については、3月15日に委員会を開催し、審査した。

その結果、議案第25号「羽咋市商工業振興条例の一部改正」については、賛成多数により原案のとおり可決・承認した。残りの議案12件については、全会一致で原案のとおり可決・承認した。

昨年12月定例会から継続審査となっている平成27年請願14号「TPP交渉に関する請願」については可否同数となったことから、委員長採決により不採択とした。

審査の過程での主な質疑・質問は以下のとおり。

【質問】 倒壊等の恐れがある空き家については、危険な状態を回避するための措置を講ずるが、所有者の同意が得られない場合や連絡がとれない場合が想定される。条例の内容を強化する考えは。

【答弁】 連絡等がとれない場合、緊急避難として応急的措置の対応をすることもある。条例の内容については、国、県の動向を注視して、必要があれば改正していく。

【質問】 本市へ進出する企業に助成金を出しているが、本社機能を市外から本市へ移転する場合、助成金額にどのような上乘せがあるのか。

【答弁】 従業員の数にもよるが、投下固定資産額の5%に相当する額を加算する。

その他、災害用備蓄品について、空き家リフォームの助成内容について、教員のメンタルヘルスについて、除雪の対応等についての答弁がされた。

平成28年 第1回定例会 3月議会

◇平成28年度の一般会計予算をはじめとする全議案を可決

平成28年度一般会計予算、国民健康保険特別会計予算および後期高齢者医療特別会計予算など議案33件を原案のとおり可決・承認した。請願5件については、2件を賛成多数で採択、3件については賛成少数で不採択とした。

■全会一致で議決された議案

	議 案 名	議決結果
議員提出議案第1号	羽咋市議会会議規則の一部改正について	可 決
市長提出議案第3号	平成28年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算	可 決
市長提出議案第4号	平成28年度羽咋市介護保険特別会計予算	可 決
市長提出議案第5号	平成28年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算	可 決
市長提出議案第6号	平成28年度羽咋市水道事業会計予算	可 決
市長提出議案第7号	平成28年度羽咋市下水道事業会計予算	可 決
市長提出議案第9号	平成27年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
市長提出議案第10号	平成27年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可 決
市長提出議案第12号	平成27年度羽咋市水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
市長提出議案第13号	平成27年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
市長提出議案第14号	行政不服審査法及び行政不服審査法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例等の整備に関する条例の制定について	可 決
市長提出議案第15号	羽咋市行政不服審査会条例の制定について	可 決
市長提出議案第16号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例等の整備に関する条例の制定について	可 決
市長提出議案第17号	羽咋市教育長の勤務時間その他勤務条件及び職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	可 決
市長提出議案第19号	羽咋市消費生活センターの組織及び運営に関する条例の制定について	可 決
市長提出議案第20号	羽咋市空家等の適正管理に関する条例の制定について	可 決
市長提出議案第21号	羽咋市まちづくり基金条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第22号	羽咋市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第23号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第26号	羽咋市宿泊施設条例の一部改正について	可 決
市長提出議案第27号	菅池辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可 決
市長提出議案第28号	羽咋市過疎地域自立促進計画の策定について	可 決
市長提出議案第29号	市道路線の認定について	可 決
市長提出報告第1号	羽咋市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承 認
市長提出報告第2号	平成27年度羽咋市一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告について	承 認

■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

議案名	議案名	松永幸則	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	高田甚哉	塩谷久司	中村重幸	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果
議員提出議案第2号	奨学金制度の充実等を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	議長は採決に 加わりません	×	○	○	○	×	○	○	可 決
議員提出議案第3号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出について	○	×	○	○	○	○		○	○	○	○	○	×	○	可 決
市長提出議案第1号	平成28年度羽咋市一般会計予算	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可 決
市長提出議案第2号	平成28年度羽咋市国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可 決
市長提出議案第8号	平成27年度羽咋市一般会計補正予算（第6号）	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可 決
市長提出議案第11号	平成27年度羽咋市介護保険特別会計補正予算（第4号）	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可 決
市長提出議案第18号	羽咋市本社機能立地促進のための固定資産税の課税の特例に関する条例の制定について	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可 決
市長提出議案第24号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可 決
市長提出議案第25号	羽咋市商工業振興条例の一部改正について	○	○	×	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	可 決
請願第1号	「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書の提出を求める請願	×	×	○	×	×	×		×	○	×	×	×	×	○	不採択
請願第2号	「消費税10%増税中止の意見書」採択を求める請願	×	×	○	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	不採択
請願第3号	奨学金制度の充実等を求める意見書の提出を求める請願	○	○	○	○	○	○		×	○	○	×	○	○	○	採 択
請願第4号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める請願	○	×	○	○	○	○		○	×	○	○	○	×	○	採 択
継続審査平成27年 請願第14号	TPP交渉に関する請願	×	×	○	×	×	×		×	×	×	×	×	×	○	不採択

●●● 市民の声 ●●●

住みやすく、魅力ある羽咋市へ建設的な議論を!

M.O (富永地区・40代・男性)

なかなか議場に行くことができないので、いつもインターネット中継を見えています。インターネット中継は仕事をしながら見ることができるので便利ですが、映像が良くないのが残念です。

各議員さんは、それぞれ考え方や個性があり、興味深く質問を聴いています。中には批判ばかりの人、話しが非常に長く何を言いたいのかなと思う人もいますが、そんな時は見苦しいので消してしまうこともあります(笑)。

建設的な議論で、羽咋市がもっと住みやすく、今住んでいる人、これから住もうと思っている人が魅力に感じるような羽咋市にして欲しいと思います。

「考えさせる」市政に期待!

K.S (一ノ宮地区・40代・男性)

私はこの街が嫌いでした。暇潰しに傍聴した市議会、期待もしていませんでしたが、市議の方々、市長をはじめ担当部署の方々が、当たり前のことかもしれませんが、この街のために一生懸命に取り組んでいる姿勢を見て、私も羽咋市のことを深く考えさせられました。私のように思うようになる人は少なからずいると思います。そんな人達を「考えさせるように」羽咋市を運営して行けば、この街の未来も開けるのではと思います。議場にいる方々は私達の代表です。これからもこの街のために頑張ってください。

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆様の声を募集しています。議会に対する感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200 羽咋市議会事務局 ☎22-7160 FAX 22-7210
Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は6月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信(生中継)しています。また、

録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ左欄の「議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

会議録、閲覧できます

市議会だよりに掲載されている質疑・質問は、議会で発言された内容の一部です。定例会の内容は、会議録にすべて記載されています。詳しくは、図書館、議会事務局、公民館で会議録をご覧ください。市のホームページにも掲載しています。

なお、平成28年3月議会の会議録は、6月上旬に閲覧できる予定です。

編集後記

本市の人口は1985年の28,789人を境に減少を続けています。2010年時点の人口は23,032人。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後、本市の人口は引き続き減少し続け、2060年には2010年の4割程度の人口8,828人になると言われています。

そこで羽咋市では、人口減少に歯止めをかけ、羽咋市における「しごと」「ひと」「まち」の好循環を生み出すため、「羽咋市人口ビジョン」および「羽咋市まち・ひと・しごと創生総合戦略(かんばる羽咋創生総合戦略)」を平成27年10月に策定しました。平成28年度は「かんばる羽咋創生元年」であり、この総合戦略を本格的に実行に移していく年になります。

この総合戦略は、市民の皆様のご理解と支援なくして実現はありえません。官民一体となった取り組みが重要となります。本市が将来にわたり「住み続けられるまち・選ばれるまち」となるようオール羽咋で頑張らしましょう。市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。(櫻井 英一)

市議会だより編集委員会
(☎0767-22-7160)

委員長	松永 幸則
副委員長	浜名 等
委員	北川真知子
	寺井 哲也
	櫻井 英一